

2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年7月14日

上場会社名 株式会社サイエンスアーツ 上場取引所 東
 コード番号 4412 URL https://www.buddycom.net
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 秀一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松田 拓也 (TEL) 03(5846)9670
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の業績(2022年9月1日~2023年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	552	22.1	△31	—	△31	—	△36	—
2022年8月期第3四半期	452	88.7	4	—	3	—	1	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2023年8月期第3四半期	△5.49		—					
2022年8月期第3四半期	0.30		0.28					

- (注) 1. 2023年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
 2. 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	834	552	66.2
2022年8月期	801	570	71.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 552百万円 2022年8月期 570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	
2023年8月期	—	0.00	—			
2023年8月期(予想)				0.00	0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	762	15.5	△90	—	△90	—	△96	—	△14.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2023年7月14日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年8月期3Q	6,715,200株	2022年8月期	6,712,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年8月期3Q	132,800株	2022年8月期	150,800株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年8月期3Q	6,574,457株	2022年8月期3Q	6,365,952株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策の効果や、行動制限の緩和に伴う個人消費の増加など、経済活動の緩やかな持ち直しの動きが見え始めましたが、急激な円安による為替相場の変動や、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源価格や燃料価格の高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が事業展開する国内のソフトウェア市場におきましては、働き方改革や人手不足の解消などの課題解決に向けコミュニケーションの促進や業務の自動化・効率化につながるソフトウェアの導入が進み、2022年度は前年度比10.2%増の1兆8,643億円※1が見込まれております。また、机の前に座らない最前線で活躍するデスクレスワーカーが働く現場においては、法人向けモバイル通信端末市場の拡大、AIや画像認識等の精度向上、ウェアラブルカメラ等ハードウェアの開発と導入コストの低減、5Gの普及による映像等大容量データの活用など、様々な分野のイノベーションの発展に伴い、さらなるDX化の拡大が期待されます。当社の提供するサービス「Buddycom」の国内における潜在市場規模については、約1,400億円と推計※2しております。当社は「世界中の人々を美しくつなげる」ことをミッションに掲げ、「デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム」の新たな市場の創出を図りながら、開発・販売を行ってまいります。

このような経営環境のもと、当社の主力サービスであるBuddycomの開発及び販売に注力いたしました。売上高は伸長した一方、Buddycomの開発及び販売強化のための人員増加による人件費及び採用費の増加、本社移転に伴って利用不能となる固定資産の耐用年数短縮による減価償却費の増加、知名度向上のための広告宣伝費等の増加により、販売費及び一般管理費も増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は552,913千円（前年同期比22.1%増）、営業損失は31,416千円（前年同期営業利益4,791千円）、経常損失は31,717千円（前年同期経常利益3,191千円）、四半期純損失は36,102千円（前年同期四半期純利益1,896千円）となりました。

※1 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2022年版」（2022年8月）

※2 国内における全ての潜在顧客、デスクレスワーカーに導入された場合の、顧客による年間支出総金額。（日本のデスクレスワーカー人口（2022年5月の総務省統計局「令和3年 労働力調査年報」より当社推計）×ID当たりの平均年間課金額）

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(Buddycom事業)

Buddycom事業におきましては、マーケティング強化による知名度の向上、代理店営業力の強化等により契約社数は増加し、当第3四半期会計期間末の契約社数は721社（前事業年度末593社）となり、ARR※は529,920千円（前事業年度末440,472千円）となりました。以上の結果、当第3四半期累計期間における、Buddycom利用料売上が361,860千円（前年同期比49.8%増）、アクセサリ売上が184,479千円（前年同期比10.5%減）となり、セグメント売上高は546,339千円（前年同期比22.0%増）、セグメント損失は36,687千円（前年同期セグメント利益946千円）となりました。

※ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末月のBuddycom利用料売上に12倍して算出。

(その他)

ALTIBASE事業を「その他」に含めております。ALTIBASE事業については、積極的には展開しない方針であり、当第3四半期累計期間におけるその他の売上高は6,573千円（前年同期比26.0%増）となり、セグメント利益は5,270千円（前年同期比37.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ33,432千円増加し、834,560千円となりました。

これは主に、四半期純損失及び投資その他の資産の取得等による現金及び預金の減少(前事業年度末比126,216千円減)等はありませんでしたが、売掛金の増加(前事業年度末比49,106千円増)、商品の増加(前事業年度末比39,579千円増)及び投資その他の資産の増加(前事業年度末比72,142千円増)等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債につきましては、前事業年度末に比べ51,342千円増加し、281,861千円となりました。

これは主に、売上高が順調に推移したことによる前受収益の増加(前事業年度末比46,932千円増)及び未払費用の増加(前事業年度末比15,037千円増)等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産につきましては、前事業年度末に比べ17,909千円減少し、552,699千円となりました。

これは、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分等による、資本剰余金の増加(前事業年度末比14,391千円増)及び自己株式の減少(前事業年度末比508千円減)、譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行による資本金の増加(前事業年度末比1,646千円増)及び資本剰余金の増加(前事業年度末比1,646千円増)、四半期純損失計上による利益剰余金の減少(前事業年度末比36,102千円減)等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、本日（2023年7月14日）業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	663,911	537,694
売掛金	35,445	84,551
商品	28,883	68,462
貯蔵品	17	14
その他	11,166	18,186
流動資産合計	739,423	708,909
固定資産		
有形固定資産	30,479	22,283
投資その他の資産	31,225	103,368
固定資産合計	61,704	125,651
資産合計	801,128	834,560
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,053	21,102
未払法人税等	290	217
前受収益	135,768	182,700
資産除去債務	—	7,530
その他	57,050	54,801
流動負債合計	206,162	266,353
固定負債		
資産除去債務	6,426	—
その他	17,929	15,508
固定負債合計	24,356	15,508
負債合計	230,518	281,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	51,646
資本剰余金	765,438	781,476
利益剰余金	△240,570	△276,672
自己株式	△4,258	△3,750
株主資本合計	570,609	552,699
純資産合計	570,609	552,699
負債純資産合計	801,128	834,560

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年9月1日 至2022年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)
売上高	452,990	552,913
売上原価	146,073	191,074
売上総利益	306,917	361,838
販売費及び一般管理費	302,125	393,255
営業利益又は営業損失(△)	4,791	△31,416
営業外収益		
受取利息	2	3
受取褒賞金	363	90
業務受託料	3,000	—
その他	8	2
営業外収益合計	3,375	97
営業外費用		
為替差損	619	394
株式交付費	4,353	—
その他	3	2
営業外費用合計	4,975	397
経常利益又は経常損失(△)	3,191	△31,717
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,999
特別損失合計	—	4,999
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	3,191	△36,717
法人税、住民税及び事業税	217	217
法人税等調整額	1,077	△832
法人税等合計	1,294	△614
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,896	△36,102

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期会計期間において、本社を移転することに伴って利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。また、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務に係る資産除去債務について、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失は7,293千円減少しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	447,773	447,773	5,217	452,990	—	452,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	447,773	447,773	5,217	452,990	—	452,990
セグメント利益	946	946	3,845	4,791	—	4,791

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	Buddycom 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	546,339	546,339	6,573	552,913	—	552,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	546,339	546,339	6,573	552,913	—	552,913
セグメント利益又は損失(△)	△36,687	△36,687	5,270	△31,416	—	△31,416

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	241,543	241,543	—	241,543
アクセサリ売上	206,230	206,230	—	206,230
その他	—	—	5,217	5,217
顧客との契約から生じる収益	447,773	447,773	5,217	452,990
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	447,773	447,773	5,217	452,990

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	Buddycom事業	計		
Buddycom利用料売上	361,860	361,860	—	361,860
アクセサリ売上	184,479	184,479	—	184,479
その他	—	—	6,573	6,573
顧客との契約から生じる収益	546,339	546,339	6,573	552,913
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	546,339	546,339	6,573	552,913

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ALTIBASE事業であります。